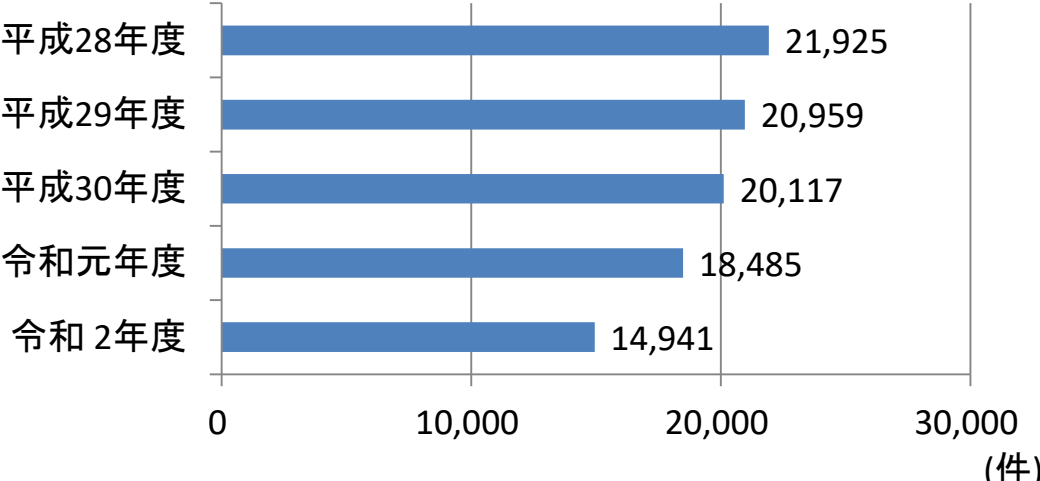


1 新規外来患者数

解説	地域の民間病院との連携を強化し、より多くの患者に高度な医療を提供することが国立大学附属病院の使命の一つです。新規外来患者の診療数は、より多くの患者に高度医療を提供していることを表現する指標となります。												
実績	 <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>新規外来患者数 (件)</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成28年度</td><td>21,925</td></tr><tr><td>平成29年度</td><td>20,959</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>20,117</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>18,485</td></tr><tr><td>令和2年度</td><td>14,941</td></tr></tbody></table>	年度	新規外来患者数 (件)	平成28年度	21,925	平成29年度	20,959	平成30年度	20,117	令和元年度	18,485	令和2年度	14,941
年度	新規外来患者数 (件)												
平成28年度	21,925												
平成29年度	20,959												
平成30年度	20,117												
令和元年度	18,485												
令和2年度	14,941												
定義	対象年度1年間に新規に患者番号を取得し、かつ診療録を作成した患者数です。診療科単位ではなく病院全体で新規に患者番号を取得した患者が該当します。最後の来院日から5年以上経過後に来院した患者は過去の患者番号を使用しても新規とします。外来を経由しない入院も含まれます。												